

安倍政権の暴走から

くらしと福祉、平和を守る相模原へ日本共産党

いまや祐貴プロフィール▼1984年12月10日、相模原市生まれ。すこやか保育園、横山小学校、清新中学校、立花学園高校を卒業し青山学院大学で学ぶ。党相模原市雇用相談室長、行政書士。趣味はスポーツ、旅行、小説を書くこと。中央区富士見に在住。



34歳

今宮ゆうき 検索

いま
みや
今宮
ゆうき

中央区

党相模原市雇用相談室長

「市民アンケート」へのご協力
ありがとうございました



昨年、日本共産党相模原市議団が実施した「市民アンケート」に、2400通を超える回答が寄せられました。12月21日には、アンケートの結果などをまとめた要望書を市長に提出し、市民の願いを市政運営に反映するよう求めました。

みんなの声で政治を変えよう

私は、職場で劣悪な労働環境を改善させるために労働組合をつくり、働く仲間たちの権利を守る運動をしてきました。

これまでの様々な経験を生かし、これからは地域に根差した活動を強め、住民のいのちとくらし最優先の政治に転換するために全力で頑張っていきます。

「みんなの声で政治を変えよう！」をスローガンに、生まれ育った相模原市を魅力ある街にするために市政の場で働かせてください。

憲法9条改悪・消費税10%への増税を阻止するために、みなさんと力を合わせ奮闘します。

竹腰早苗議員 市政ですぐに働ける人

3期12年の議員生活のなかで、住民要求に粘り強く取り組み、実現させる力と「ダメなものはダメ」と主張できる力がいまこそ求められていることを痛感してきました。今宮ゆうきさんは住民の悩みや苦しみに寄り添う人柄と行動力、ちからを合わせることが出来る力を持っている、市政ですぐに働ける人です。

◆菅野 通子 (元市議)

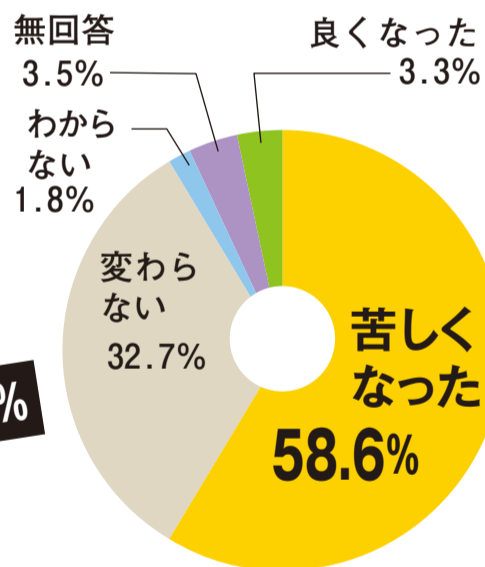
いま、弱い者いじめばかりのひどい世の中です。でも「あきらめません」。みんなが幸せにくらせる政治をめざして、若くて正義感あふれる今宮ゆうきさんに期待します。

若い行動力に期待します

「生活が苦しくなった」

あなたの毎日のくらし向きは

58.6%



「生活が苦しくなった」ことの原因では、①年金の減少、②医療や介護の支出増、③税金の負担増、④給与の減少、⑤保育・教育の支出増をあげており、国の悪政や市政による負担増が市民生活を苦しめていることが明らかになっています。

◆田中 武夫 (元市議)

国民健康保険税を下げしてほしい、小学校給食の自校調理方式を守ってほしい、物騒なミサイル司令部はいらぬーなどの切実な市民要求を託せる今宮ゆうきさんに期待します。

新しい市議会では

引き続き力を尽くします

◆くらし応援

- 国民健康保険税1人1万円引き下げ
- 介護保険料、利用料の負担軽減
- 若い世代向け家賃補助制度の創設

◆子育て支援、教育の充実

- 保育所、児童クラブの待機児解消
- 小児医療費助成制度の所得制限・一部負担金廃止
- 小中学校の特別教室・体育館へのエアコン設置
- 少人数学級の推進
- あたたかくておいしい、全員喫食の中学校給食

◆防災・減災の取り組み強化

- 道路や橋、トンネルなどの老朽化・耐震化対策推進
- 「ひばり放送」の戸別受信機の早期導入
- 境川の早期改修

◆基地・平和

- 相模総合補給廠のミサイル部隊司令部撤退
- 米軍機、ヘリの爆音被害解消
- 日米地位協定の見直し
- 米軍基地の早期全面返還

◆まちづくり

- バス路線の充実
- コミュニティバス、乗合タクシーの導入促進
- 高齢者向けお出かけ支援制度(バス代補助等)の創設
- リニア建設中止、広域交流拠点整備計画の見直し